

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月22日

事業所名 コロニー児童デイサービスなは

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7				利用定員の調整は適切に行っています。指導訓練室等スペースとの関係でも問題なく活動が行えます。
	2	職員の配置数は適切である	7				利用児童数に応じて適切な配置を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7				改善が必要であれば、その都度、利用者のニーズに応えるかたちで対応していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7				共通認識でも考え方に個人差がでてしまう為、定期的な確認で修正は必要と考えます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				評価表・アンケートの実施は年1回、保護者会(家族会)などでも内容の説明・報告は行っていますが、周知としてはまだ低いと感じています。周知方法を再度検討していきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7				評価表・アンケートの実施は年1回、保護者会(家族会)などでも内容の説明・報告は行っていますが、周知としてはまだ低いと感じています。周知方法を再度検討していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2			事業所全体で議論し検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1			職員全体での情報共有が必要な研修に関しては内部研修など行っていますが、職員の資質の向上を行うために、研修の機会は増やしていきたい。事業所全体で議論し検討していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				共通認識や解釈の取り方でも個人差がでてくる点では課題もあります。その為児童だけではなく職員(チーム)の個性も含めて支援内容を検討し作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2			アセスメントの活用方法にはまだ工夫や改善が必要と考えます。今後事業所全体で議論していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7				児童達各々が楽しめる活動を中心に企画・立案を行っています。また、他事業所とも情報交換を行い、新たな活動も常に模索しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7				児童達各々が楽しめる活動を中心に企画・立案を行っています。また、他事業所とも情報交換を行い、新たな活動も常に模索しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2			利用時間に応じた児童達の行動パターンを職員全体で把握し、安全に楽しくすごせるよう調整をおこなっています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7				子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた支援は、その日の活動を確認しながらも、状況に応じた行動や判断が柔軟にできる支援は必要だと考え、計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7				児童の様子や行動なども含めて、支援の内容や役割分担について確認しています。左記課題に対しては、できなかった理由があれば明確化したうえで再度改善にむけて取り組んでいきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7				基本的には当日にて確認を行います。帰りの送迎が延びたりする場合は、翌日での確認もあります。但し緊急性があれば、すぐの確認・情報共有を行います。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				利用時には個別記録を記しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				定期的に行っています。モニタリングの内容に見直しが必要だと判断し修正することもあります。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	2			より良い支援を目指し、子供たちが楽しく出来る事を増やしていけるよう取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7				児童発達支援管理責任者にて参画しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7				各学校によって取り組み方に違いはありますが、児童にとって必要な確認はその都度行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	2			必要な場合は整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	1			必要な場合は努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	3			実際にそういうケースもありました。自事業所での様子や取り組み方を伝える事でスムーズに移行できるように協力します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	4	インフルエンザやコロナの影響など考え控えている。	今回はコロナ禍or平常時かの視点や解釈の違いで、意見や回答にも多少ばらつきがありました。交流の機会があれば前向きに検討を考えています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	2	1		参加できるよう調整を行っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7				帰りの送迎時にお互いに必要な情報交換を行い、事業所に持ち帰り情報共有や課題に対しては議論も行います。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2			利用者家族からの相談やアプローチが必要だと感じる場面などあれば行っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7				定期的に説明する内容では無い為、確認したいことがあれば、いつでもご相談ください。管理者にて対応させていただきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7				送迎の際に 各々職員に確認・相談されることもあります。内容によっては職員個人で判断してはいけない事例もありますので、その際は管理者に確認するよう職員に伝えていきますのでご了承下さい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	2		現在 保護者同士の交流の場として、保護者会・家族会（年1回）、ゆんたく会（奇数月）、親子パーベキューなどがあります。 ※コロナ禍にあり中止が続いていましたが、再開を目指し取り組んでいきます（当法人との方針で確認をとりながら）
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				子供や保護者から苦情があった際は、速やかに管理者に報告し、お詫び、内容確認、対策の検討・実施を本児や家族へ説明、改善を行うよう努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	4			定期的な会報は行っていますが、回数は少なく検討しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	35	個人情報に十分注意している	7				個人情報か判断に迷う場合は 管理者にて預かり確認を行っています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				伝わりやすい方法は常に意識していて、障がいのある・なし以外でも、状況に応じて柔軟に対応できるよう配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	2		イベント(ハロウィン)などでの交流はたまにありますが、多くはありません。そういう機会があれば積極的に検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7				各種マニュアルを策定し、事業所に保管していますが、今後はより積極的に保護者会(家族会)等で周知説明いたします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7				避難訓練フローにそって実施しています。保護者会などを通じて訓練内容なども周知していきます
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7				外部研修への参加、内部研修での取り組みなど毎年実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1			必要なケースがあれば議論していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2			家族からの聞き取りで確認を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1			書面としての事例は少なく、見直しは必要と考えています。